

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宿毛市立小筑紫中学校
授業者	岡村弘美

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海の学習「自分たちの地域にある美しい海を残すためにできること」

1-2. 学年

全学年（1～3年）25名

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合・理科・社会・道徳

1-4. 単元の概要

SDG14や国際海岸クリーンアップ（ICC）の活動の内容を学習し、調査品目にあるものや日本で問題になっているゴミを近くの海岸や観光地などの海岸で調べる。（ボランティア活動も含めゴミ拾いも兼ねる。）ゴミを減らすにはどうすればよいか、自分たちができること、将来的にどういう活動を行っていけばよいか考え、まとめる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

自分たちが住んでいる地域の美しい海の海岸に、少しずつゴミの量が増え、海岸の美観が損なわれてきている。そこでどのようなゴミが流れつくか種類を知り、ゴミを減らし、美しい海を保つためにどうすればよいかを考えさせ、実行させる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

地球温暖化の問題や美しい海を残すためにはどうすればよいか考えることで、環境問題に着目させ、自分たちの生活の中の課題として、その解決のために自ら行動する態度を養う。

1-7. 単元の展開（全14時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
9 月 24 日 2 時 間	「足摺周辺のさかなたち」 足摺海洋館（SATOUMI） 新野 大館長による講話 （海水温の上昇による影響や海水中を浮遊する ビニールの食害の話など）	講師招聘（足摺海洋館 SATOUMI 新野大館長） モニター、パソコン
11 月 20 日 1 時 間	ゴミ拾いの事前学習 「海洋生物へのプラスチックの食害やマイクロ プラスチックの影響について」	理科教師 パワーポイント、モニター、パソコン
11 月 24 日 6 時 間	午前 海岸清掃（土佐清水市松崎海岸） 午後 足摺海洋館（SATOUMI）見学	松崎海岸（土佐清水市） 足摺海洋館（SATOUMI）
11 月 26 日 1 時 間	ゴミの仕分け I C C 調査品目について分類する。	理科
11 月 27 日 3 時 間	まとめ 壁新聞にして教室の廊下に展示	理科

3 月 9 日 1 時 間	下田海岸清掃	遠足（四万十市下田）
---------------------------------	--------	------------

2 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

1-8. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

1-9. 本時の目標

松崎海岸で集めたゴミを I C C 調査品目に分類する。分類したゴミはどのようなものが多いか、なぜそのようなゴミが多くなるのかを考える。

1-10. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>松崎海岸で集めたゴミの重さをはかる。 松崎海岸で集めたゴミ进行分类する。</p>	<p>ゴミの総重量がかさのわりに軽いことに気付かせる。 (プラスチックなどの水に浮くものが多い。)</p>
 	<p>中国語や韓国語の書かれたペットボトルがあることに気付かせる。(外国から流れ着いたものがある。)</p>
 	<p>カメ（死因はわからない）の死がい被打ち上げられていた。 牡蠣の養殖パイプやエギなど漁業に関する物も多いことに気付かせる。</p>
 	<p>カメ（死因はわからない）の死がい被打ち上げられていた。 牡蠣の養殖パイプやエギなど漁業に関する物も多いことに気付かせる。</p>

2. 今回の活動の自己評価

生徒の感想より

- ・ゴミの量が多かったのに重さが 1,7kg ととても軽かったので、プラスチックの割合が多いんだなと思った。
- ・日本より北にある中国や韓国のペットボトルが太平洋側の土佐清水に流れてくるのはなぜだろうかと思った。
- ・死んでいるウミガメの姿を見て、残酷だなとも、かわいそうだなと思いつつ、これは人間のしたことこうなっていると考えると複雑な気持ちになる。
- ・ゴミの中には生活ごみが多くあった。
- ・漁業の盛んな高知県では漁網や浮き、養殖パイプなどが多く流れ着いている。

3. 今後の課題

生徒の感想から今後の課題として、外国から流れ着くゴミをどうするか、漁具のゴミを減らすにはどうすればよいか、考えさせて、発信させていくようにしたい。

4. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・次年度はさらにゴミの種類について、調べる。
- ・ゴミを減らすように、外に向けて発信していく。(看板の設置や、ホームページへの掲載)

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画(年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料)があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。

4-1. 単元における位置づけ

単元 14 時間中の 11, 12, 13 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

4-2. 本時の目標

ゴミの分別の結果から分かったことやこれから自分たちが取り組んでいくことをまとめる。

4-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>テーマ・ゴミの種類・ゴミの重量・結果から考察する感想を入れてまとめる。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"></div> <div style="width: 50%;"></div> <div style="width: 50%;"></div> <div style="width: 50%;"></div> <div style="width: 50%;"></div> <div style="width: 50%;"></div> </div>	<p>結果から考察させていく。 感想は気付いたことや自分が出来ることを考えさせる。</p>

5. 今回の活動の自己評価

・海岸でウミガメが死んでいた。なぜ死んだのだろうか。ウミガメは主にクラゲを食物にしているので、水に浮くビニールをクラゲと間違えて食べたのではないだろうか。人の身勝手な行動で生態系が崩れていくことに気付いている。

6. 今後の課題

自分たちの地域にある海岸に流れ着くゴミの実態を把握することができたので、次はゴミをなくすために自分たちができることや周りに発信する方法を考えていく。

7. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

来年度に向けて、一步ステップアップした取り組みにつなげていく方法を考えていく。